



2024年4月11日

各位

会社名 株式会社 シーズメン
代表者名 代表取締役社長 植杉 泰久
(東証スタンダード・コード 3083)
問合せ先 取締役管理本部長 保住 光良
(TEL 03-5623-3781)

通期連結業績予想と実績との差異及び特別損失計上に関するお知らせ

2024年1月12日に公表いたしました2024年2月期通期連結業績予想と、本日公表の実績値に差異が生じたのでお知らせいたします。また、当第4四半期連結会計期間におきまして特別損失を計上いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 2024年2月期通期連結業績予想数値と実績との差異 (2023年3月1日～2024年2月29日)

(単位：百万円，%)

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 親会社株主に 帰属する 当期純利益 | 1株当たり 当期純利益 |
|--------------------------|-------|------|------|-------------------------|----------------|
| 前回発表予想(A) | 5,530 | △170 | △210 | △230 | △79.79円 |
| 今回実績値(B) | 5,530 | △103 | △155 | △332 | △115.45円 |
| 増減額(B-A) | 0 | 67 | 55 | △102 | - |
| 増減率(%) | - | - | - | - | - |
| (ご参考) 前期実績 (2023年2月期) | 6,305 | △256 | △250 | △302 | △104.90円 |

差異が生じた理由

当連結会計年度における当社グループの業績は、売上高は計画通りの推移となりました。売上総利益は、定価販売の強化によって値引きを抑制したことから、売上総利益率が向上し、計画を上回る結果となりました。また、グループ内の組織の効率化、管理部門業務の統合などにより、販管費は計画を下回る金額に抑制することができました。その結果、営業利益及び経常利益が改善され、計画から赤字幅が縮小いたしました。また、親会社株主に帰属する当期純利益は、下記「2. 特別損失の計上」に記載の特別損失を計上したことから、計画を下回る結果となりました。

2. 特別損失の計上

当社の連結子会社である株式会社チチカカの事業計画の見直しを行った結果、買収時に超過収益力を前提として計上しておりました、のれんについて減損処理を実施することとなり、のれんの減損損失 57 百万円を、2024 年 2 月期第 4 四半期連結会計期間において特別損失として計上いたしました。

また、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき、店舗設備等の減損処理を実施したことによる減損損失 100 百万円を、2024 年 2 月期第 4 四半期連結会計期間において特別損失として計上いたしました。

以 上